

岡山県の天気 岡山は、全国で最も晴天日数が多いことから、太陽光発電に適しています。そのため、太陽光発電をつけるお客様からの相談がとて多く、積極的に支援しているんです。

トマト銀行のEco3本柱

- Eco1 業務を通じた環境への取り組み
- Eco2 会社での環境自己活動の推進
- Eco3 地域での環境配慮活動の推進



トマト銀行の紹介

岡山市に本店があり、岡山県内を中心に、計六十一か店もの店があります。創立年月日は昭和六年十月九日で今から八十二年前に創立されました。環境に配慮し、通帳の印刷には**ベジタブルオイルインキ**（植物油インキ）を使用しています。通帳の素材をリサイクルできるようにするために、布クロスから紙クロスに変えようとしてきました。人と環境にやさしい**ユニバーサルデザイン通帳**に変えて行っています。これは平成五年二月から行われています。文字の形が分かりやすく、より見やすくしました。だれにでも使いやすいですね！



とっげきインタビュー

エコ活動に積極的に取り組まれているトマト銀行の本店営業部を訪問して、取り組みの状況について経営企画部の部長、藤岡さんにくわしくお話を聞きました。

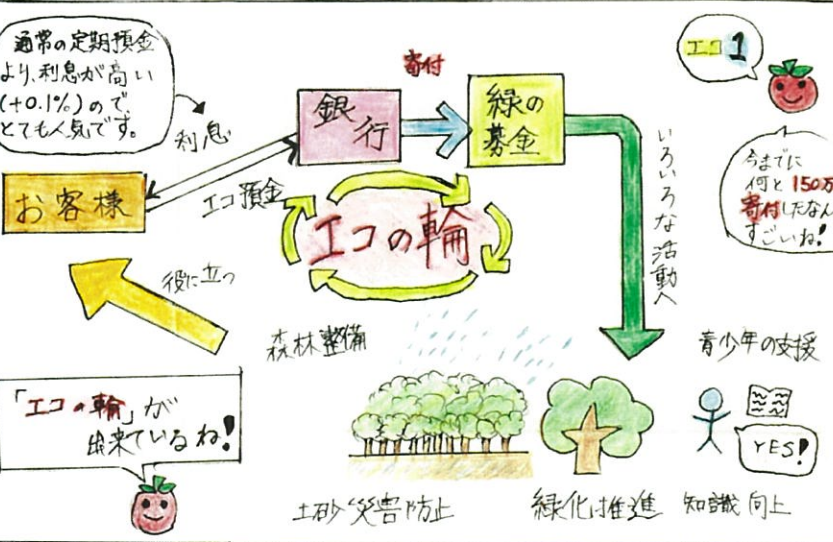
Q エコ活動に積極的な理由は何ですか？
A 豊富な水と緑に恵まれた岡山の自然と環境を守りたいからです。

Q エコ活動で苦労されていることは何ですか？
A 多くのお金がかかるので、少しずつ進められないことです。

岡山ECCO

発行 津島小 6年 田代真規

Eco定期預金をしてみよう



エコ定期預金とは、預金総額の0.03パーセント相当額(上限30万円)を緑を守る活動へ募金する預金です。この活動は銀行イチオシの取り組みで、五年間も続けていきます。平成25年度のエコ預金額は約十億円、募金額は上限の30万円を寄付しています。過去五回も同じように上限の30万円を寄付しています。

図のように、青少年の支援、森林整備など、たくさんの方に活用されています。

快適な場所づくり

トマト銀行は夏季限定で、クールシェアスポットを設置しています。この取り組みはお客様に気軽にお立ち入りいただけるように、すぐお施設を作りました。この取り組みは図書館などにはありませんが、銀行としては全国唯一の取り組みです。

また、地域の川のいせり、銀行の中や外に季節の花を植えたり、マラソン大会を主催したり、お客様が地域の住民への満足度が上がる取り組みも行っています。



今回はおかげさまで、たくさんの方からご声援をいただきました。

経営企画部長の藤岡さんより、若くして取り組むことが大事と、おまのこつを教わり、私の身の回りからがんばりたいところを教えてくださいました。

Eco取り組み状況(全店舗計)

	H20年度	H25年度	増減比	取り組み内容
紙	100	86.4	▲13.6	電子決済、電子メール、両面コピー、再生紙使用(70%)
電力	100	77.9	▲22.1	Eco店舗(太陽光発電)、LED照明、省エネ型空調、人感センサー、クールビズ(5月~10月:28度)、ウォームビズ(11月~4月:18度)
廃棄物	100	83.6	▲16.4	廃木材の再利用、リサイクル(エコキャップ)

他にも、電気自動車、電気バイク導入。エコキャップは平成25年度に約7万個を集め寄付。捨ればゴミ、分ければ資源。

銀行での取り組み

カーボン・オフセットって何？

カーボン・オフセットとは、イベントを開いた時に参加者が会場まで車などを使って来場するので、CO2が発生してしまいます。そこで参加者からCO2は排出量を計算して、その相当額のはい出権をEco技術が進んだ会社からお金をはらって権利を買ってはいけません。このため、あわせてお金のことをいいます。

第4回6時間リレーマラソン 平成26年10月開催の場合

参加人数	8,125人
CO2はい出計算量	48t

岡山県からEco燃料導入によるCO2は削減された権利

リレーマラソン +CO2 (個人参加) -CO2 (企業参加)

岡山県 他企業等によるCO2削減分